

## 児童発達支援評価表

回答 28

|        |   | チェック項目                                                                                | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容、又は改善目標                                                                                                                                 |
|--------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                          | 20 | 8   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスの人数がバランスが取れていると思われる。</li> <li>・広さ的にはやや狭さを感じる程度だが、業務内容別に分けた方が良いと思う。</li> <li>・通園と相談関係での部屋の使い方を常に工夫している。</li> <li>・時間調整などで工夫している。</li> <li>・ホールや相談室等、いつ誰が使用するか分かるようにして、個別に使用したり、集団で利用したりできるようにしている。</li> <li>・装具や車椅子、保育準備した物のスペースが不足している。</li> <li>・お子さんが使う用具が1人に対し沢山あります。すぐに使いたい時に自室の物入れがもう少し広がったら、出し入れしやすく使いやすくなります。ホールや園庭で身体を動かしたり、保育室でも遊具の工夫をして快適に過ごせるような工夫をしています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用定員とスペースの関係は適切であると考えますが、今後も工夫しながら、利用しやすい環境に努めます。</li> </ul>                                                      |
|        | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                       | 24 | 4   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもと職員の割合を一定にするのではなくこどもの状態に応じて、職員数を増減するなど工夫している。</li> <li>・フリーの保育士を適宜配置している。各年齢の子どもの様子を情報共有できるようにし、子どもたちの理解につなげている。</li> <li>・活動や子どもの状態により職員の手が必要な時は、フリー職員が入ってくれる。</li> <li>・子ども用のトイレについては、オムツ交換台が小さかったり、手洗いが利用しにくいなどがある。また、プライバシーを守るための工夫や配慮がさらに必要である。</li> </ul>                                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置数は適切であると考えますが、今後も職員の配置については、フリー職員の配置をするなど柔軟に対応できるように努めます。</li> <li>・子ども用のトイレについては、使いやすいうに検討していきます。</li> </ul> |
|        | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 25 | 3   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部屋にマークがあり、子どもたちにもどの部屋で活動するのか視覚的にも伝えることができる。また、絵カードを利用しながら提示している。</li> <li>・職員の努力（手作り等）で生活空間は分かりやすくなっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も子どもにとってわかりやすい環境などの工夫をしながら、快適な環境で療育等ができるよう配慮していきます。</li> </ul>                                                  |
|        | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 27 | 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次にやることの見通しが立つようにホワイトボードで1日や集会などの流れを視覚で分かるように工夫している。</li> <li>・経年劣化は感じられる。特に安全性が損なわれる部分は修繕が必要になりつつある。</li> <li>・経年劣化による施設の不具合や不備を修理することが増えてきている。</li> <li>・定期的な清掃と日々の清掃は確実に行われている。</li> <li>・興味が転動するなどの場合、やることがすっきりと分かるように、おもちゃが見えないように覆いを被せたり、衝立で仕切るなど環境設定をしている。</li> </ul>                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な環境であると考えますが、より使いやすくなるような工夫に努めます。</li> <li>・経年劣化に関しては、修繕等の対応を可能な限り早めに行えるように努めます。</li> </ul>                     |
|        | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                            | 27 | 1   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医務室や静養室を有効に利用している。</li> <li>・部屋が不足気味で、子どもがクールダウンなどできにくい時がある。</li> <li>・個別の部屋がない時は、パーテーションで区切り、環境設定を行っている。</li> <li>・相談活動では、個室を利用している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大により、使用できる部屋が多少制限される場合がありますが、より使いやすくなるような工夫に努めます。</li> </ul>                                                  |

|          |    |                                                                                                                                          |     |   |                                                                                                                           |                                        |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                          | 2 6 | 2 | ・支援計画の勉強会に参加している。<br>・各担当ごとの会議や全体の職員会議を行っている。                                                                             | ・今後も継続していきます。                          |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 2 8 | 0 | ・保護者からの意見を職員会議で話し合っている。<br>・保護者会を開催したり、保護者の個々の要望について直接に相談を受けている。                                                          | ・今後も保護者等の意向について、把握の機会を設け業務改善につなげていきます。 |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 2 7 | 1 | ・職員会議の中で話し合いを持っている。意見が言える機会は増えた。<br>・職員会議で意見を出しあったり、グループを作りより話しやすく工夫をしている。<br>・職員間の意見交換はもっと行ったほうがよい。                      | ・今後も継続していきます。                          |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 2 1 | 7 | ・保護者会の要望書に対応している。<br>・外部の第三者による評価は未実施のため今後検討。                                                                             | ・必要に応じて外部評価の導入について、検討していきます。           |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 2 8 | 0 | ・研修数は多く、日頃の療育を見直したり改善の機会になって良いと思う。<br>・ビデオを使用して研修を行っている。<br>・外部の研修には、ほとんどが正規職員が行っている。<br>・オンライン研修が増え、内部の研修は誰でも受けられることが多い。 | ・今後も継続していきます。                          |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 2 8 | 0 | ・園だより等で、1ヶ月の保育内容を伝えている。                                                                                                   | ・今後も継続していきます。                          |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 2 8 | 0 | ・保護者からのニーズを記入してもらい、それを元に支援計画を作成している。<br>・担任や児童発達管理責任者等複数の職員同士が話し合いながら、計画を作成している。                                          | ・今後も継続していきます。                          |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 2 8 | 0 | ・クラス担任と児童発達管理責任者がケース会を開き、支援計画を作成している。                                                                                     | ・今後も継続していきます。                          |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 2 8 | 0 | ・クラス担任だけが把握するのではなく、ケース会の開催で、他クラスの担任も個々に必要な支援方法で関わることができている。                                                               | ・今後も継続していきます。                          |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 2 7 | 1 |                                                                                                                           |                                        |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 2 8 | 0 |                                                                                                                           |                                        |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 2 8 | 0 |                                                                                                                           |                                        |

|       |    |                                                                                                            |     |   |                                                                                                                                                                    |                              |
|-------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
|       | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                   | 2 8 | 0 | ・季節によってできるプログラム(プール、散歩、戸外遊びなど)を組み込んだり、インターネットでの情報収集などをして工夫している。<br>・研修を積極的に行い、新しい情報を取り入れるようにしている。<br>・たてわり療育は子どもたちも、保護者も刺激になっていると思う。発達特性への理解や知識などを確認できる意味でも良いと感じる。 | ・今後も継続していきます。                |
|       | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 2 8 | 0 |                                                                                                                                                                    |                              |
|       | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 2 8 | 0 | ・前日、当日にチームで支援内容の確認ができています。<br>・全体での朝の打ち合わせ、クラスでの打ち合わせをするようにしている。                                                                                                   | ・今後も継続していきます。                |
|       | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 2 8 | 0 | ・反省、情報共有、改善するための方法などをチームで打合せできている。<br>・バス添乗や全体会議等もあり、打合せをできないことや振り返りの時間が足りないことがある。                                                                                 | ・可能な限り打合せの時間が取れるよう、配慮していきます。 |
|       | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 2 8 | 0 | ・毎日療育日誌等、複数の記録をつけ、検証・改善につなげている。                                                                                                                                    | ・今後も継続していきます。                |
|       | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 2 8 | 0 | ・半年に一回、中間評価のケース会議を開催。保護者にニーズ確認を記入してもらっている。                                                                                                                         | ・今後も継続していきます。                |
| 関係機関や | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 2 8 | 0 |                                                                                                                                                                    |                              |
|       | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 2 8 | 0 |                                                                                                                                                                    |                              |
|       | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 2 7 | 1 | ・電話等で様子を情報共有できるようにしている。また、所属先に行き、相互理解をはかっている。<br>・併行利用等に際しては、利用先の幼稚園や保育園等と連携し、情報共有を図っている。                                                                          | 今後も継続していきます。                 |
|       | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 2 8 | 0 |                                                                                                                                                                    |                              |
|       | 28 | (28～30 は、センターのみ回答)                                                                                         | 2 8 | 0 | ・ケースを通して連携を図っている。また、センターでの研修会の際には、市内事業所が参加し、市内及び地域のサービスの質の向上に寄与している。                                                                                               | ・今後も継続していきます。                |
|       |    | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                 |     |   |                                                                                                                                                                    |                              |

|          |    |                                                                                            |     |   |                                                                                                                                       |                                                             |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 保護者との連携  | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                         | 2 7 | 1 | ・通所児童に関して、医療機関と連携し、医師のアドバイスを受けている。<br>・職員は外部研修に参加している。                                                                                | ・今後も継続していきます。                                               |
|          | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                  | 2 7 | 1 |                                                                                                                                       |                                                             |
|          | 31 | (31 は、事業所のみ回答)                                                                             | —   | — | —                                                                                                                                     | —                                                           |
|          |    | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                       |     |   |                                                                                                                                       |                                                             |
|          | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                | 2 8 | 0 | ・4～5 歳児の「全体交流」と、年長児対象の「5 歳児交流」を、複数回行っている。                                                                                             | ・今後も継続していきます。                                               |
|          | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                           | 2 8 | 0 |                                                                                                                                       |                                                             |
| 保護者への説明等 | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 2 6 | 2 | ・情報提供はしているが、園の中では研修がないのであれば良いと思う。                                                                                                     | ・外部研修は参加しているので、職員からの伝達研修を検討していきます。                          |
|          | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                       | 2 7 | 1 |                                                                                                                                       |                                                             |
|          | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。             | 2 8 | 0 |                                                                                                                                       |                                                             |
|          | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                         | 2 8 | 0 |                                                                                                                                       |                                                             |
|          | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                         | 2 8 | 0 | ・必要に応じて適宜面談を設け、相談や支援を行っている。<br>・保護者対応の研修がさらに充実できたらよい。                                                                                 | ・今後も継続していきます。<br>・研修等の充実に関しては、検討していきます。                     |
|          | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 2 5 | 3 | ・卒園児保護者を呼び、在園児保護者と話す機会を設けている。<br>・親睦会を保護者会が開催している。<br>・コロナの流行のあと、まだまだ兄弟同士の交流は、難しい環境であると思います。<br>・時間や場所を提供している。<br>・行事の時にはきょうだいも参加できる。 | ・行事の時にはきょうだいの参加が可能となっています。<br>・さらなる充実については、今後も継続して検討していきます。 |

|         |    |                                                                                 |     |     |                                                                                                       |                                                                          |
|---------|----|---------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
|         |    |                                                                                 |     |     | ・保護者同士の関わる時間を設けているが、きょうだい同士の時間をつくれていない。しかし、夏まつりや、運動会にきょうだいの参加を ok にし、アシタエールのことを知ってもらう機会をつくった。         |                                                                          |
|         | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。    | 2 8 | 0   |                                                                                                       |                                                                          |
|         | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。     | 2 3 | 5   | ・紙ベースでの発信はあるが、インターネットを使用した情報発信は行っていない。<br>・SNS などを利用できる環境がない。設備の導入も必要。<br>・園だより、クラスだより、行事のお便りを発行している。 | ・設備の導入については、今後も要望していきます。                                                 |
|         | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                             | 2 8 | 0   |                                                                                                       |                                                                          |
|         | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                           | 2 8 | 0   | ・絵カードやホワイトボードを利用したり、保護者にメモやレジュメを渡して伝えるようにしている。                                                        | ・今後も継続していきます。                                                            |
|         | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                           | 1 1 | 1 7 | ・流行性の風邪などを配慮すると、外部との交流が難しい。                                                                           | ・児童のインクルーシブの観点においては、地域との交流は必要ですが、現在は行っていません。今後どのような機会をとらえて行えるか、検討していきます。 |
|         | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 8 | 0   | ・すべてのマニュアルについて策定をしています。<br>・感染症研修をしている。                                                               | ・今後も継続していきます。                                                            |
|         | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                       | 2 8 | 0   |                                                                                                       |                                                                          |
|         | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。                                             | 2 8 | 0   |                                                                                                       |                                                                          |
|         | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                          | 2 7 | 1   |                                                                                                       |                                                                          |
| 非常時等の対応 | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 2 8 | 0   |                                                                                                       |                                                                          |
|         | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                       | 2 7 | 1   | ・避難訓練を保護者とともに、計画的に行なっている。                                                                             | ・保護者への周知をさらに充実していきます。                                                    |

|  |    |                                                                              |    |   |                               |               |
|--|----|------------------------------------------------------------------------------|----|---|-------------------------------|---------------|
|  | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                      | 28 | 0 | ・毎日、ヒヤリハット事案を報告し、改善するようにしている。 | ・今後も継続していきます。 |
|  | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                         | 28 | 0 |                               |               |
|  | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 28 | 0 |                               |               |